

取り組み項目		取り組みの考え方と実施事項	目標(2020年度)																				
低炭素社会の構築	製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の燃費性能向上</li> <li>・次世代車の開発推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車の燃費性能向上に繋がるゴム・樹脂部品の軽量化設計・開発及び車載LED品の開発</li> <li>・新エネルギー動向に対応した新領域製品・技術の開発</li> </ul>																				
	生産・物流	環境負荷の低減	<b>&lt;生産:CO<sub>2</sub>&gt;</b> ・生産段階でのCO <sub>2</sub> 排出量の低減 [ ・工場での日常改善 ・設備の高効率化(照明LED化 ・ユーティリティ・空調更新など) ・革新工程の開発・導入 ・エネルギー置換 ]	<b>&lt;CO<sub>2</sub>低減目標&gt;</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">グローバル</td> <td>原単位</td> <td>2012年</td> <td>12%減</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>原単位</td> <td>2012年</td> <td>15%減</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">本体</td> <td>原単位</td> <td>2012年</td> <td>17%減</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>2012年</td> <td>17%減</td> </tr> </tbody> </table>		項目	基準年	目標	グローバル	原単位	2012年	12%減	国内	原単位	2012年	15%減	本体	原単位	2012年	17%減	排出量	2012年	17%減
				項目	基準年	目標																	
			グローバル	原単位	2012年	12%減																	
	国内	原単位		2012年	15%減																		
本体	原単位	2012年	17%減																				
	排出量	2012年	17%減																				
<b>&lt;6ガス&gt;</b> ・CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス(6ガス※1)排出量の低減	<b>&lt;6ガス低減目標&gt;</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体</td> <td>排出量</td> <td>2012年</td> <td>62%減</td> </tr> </tbody> </table>		項目	基準年	目標	本体	排出量	2012年	62%減														
	項目	基準年	目標																				
本体	排出量	2012年	62%減																				
<b>&lt;物流:CO<sub>2</sub>&gt;</b> ・輸送効率の向上によるCO <sub>2</sub> 排出量の低減	<b>&lt;物流CO<sub>2</sub>低減目標&gt;</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体</td> <td>原単位</td> <td>2012年</td> <td>8%減</td> </tr> </tbody> </table>		項目	基準年	目標	本体	原単位	2012年	8%減														
	項目	基準年	目標																				
本体	原単位	2012年	8%減																				
社会との連携	環境に優しいLEDメーカーとしての貢献	・LED応用製品の開発と市場への投入	_____																				
循環型社会の構築	製品	再生可能資源・リサイクル材の活用 ・資源有効利用に向けた、リサイクルし易い製品設計と技術開発 ・軽量化による原材料の低減	_____																				
	生産・物流	環境負荷の低減	<b>&lt;生産:廃棄物&gt;</b> ・歩留り向上等による発生源対策に加え、ゴム・樹脂等の社内リサイクルの推進 ・廃棄物の資源化推進 ・国内:埋立廃棄物ゼロ化の継続(海外:埋立廃棄物低減活動推進)	<b>&lt;廃棄物低減目標&gt;</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国内</td> <td>原単位</td> <td>2012年</td> <td>10%減</td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>原単位</td> <td>2012年</td> <td>12%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>原単位</td> <td>2013年</td> <td>6%減</td> </tr> </tbody> </table>		項目	基準年	目標	国内	原単位	2012年	10%減	本体	原単位	2012年	12%減	海外	原単位	2013年	6%減			
				項目	基準年	目標																	
			国内	原単位	2012年	10%減																	
本体	原単位	2012年		12%減																			
海外	原単位	2013年	6%減																				
<b>&lt;物流:梱包材&gt;</b> ・梱包、包装仕様の見直し等による梱包材の低減	<b>&lt;梱包材低減目標&gt;</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体</td> <td>原単位</td> <td>2012年</td> <td>8%減</td> </tr> </tbody> </table>		項目	基準年	目標	本体	原単位	2012年	8%減														
	項目	基準年	目標																				
本体	原単位	2012年	8%減																				
<b>&lt;水&gt;</b> 水使用量の低減と有効活用 [ ・使用量見える化によるムダ排除 ・リサイクルによる使用量低減 ]	<b>&lt;水使用量低減目標&gt;</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国内</td> <td rowspan="2">原単位</td> <td rowspan="2">2012年</td> <td rowspan="2">8%減</td> </tr> <tr> <td>本体</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	基準年	目標	国内	原単位	2012年	8%減	本体	海外												
	項目	基準年	目標																				
国内	原単位	2012年	8%減																				
				本体																			
海外																							

※1 6ガス: メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFC:Hydrofluorocarbon)、パーフルオロカーボン類(PFC:Perfluorocarbon)、六ふっ化硫黄(SF<sub>6</sub>)、三ふっ化窒素(NF<sub>3</sub>)、

取り組み項目		取り組みの考え方と実施事項	目標(2020年度)									
環境保全と自然共生社会の構築	製品	製品含有化学物質の管理充実 ・グローバルな製品含有化学物質管理の推進	—									
	生産・物流	環境負荷の低減 ・塗装工程における塗料の削減等によるVOC※2 低減技術の開発と導入 ・工法見直しによる使用量の低減	<VOC低減目標> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国内</td> <td rowspan="2">原単位</td> <td rowspan="2">2012年</td> <td>6%減</td> </tr> <tr> <td>本体</td> </tr> </tbody> </table>		項目	基準年	目標	国内	原単位	2012年	6%減	本体
				項目	基準年	目標						
	国内	原単位	2012年	6%減								
				本体								
		・低排出ガス車の導入による排ガス低減	—									
	社会との連携	地域とつなぐ自然保全活動の推進	・オールトヨタ、行政、NPOとも連携した活動 ・TGグループでの生物生育域の拡大(工場の森づくり、ビオトープ等)	—								
		地域への環境貢献	・エコ先端工場等での環境活動を通じた地域社会への貢献(近隣住民、児童等への教育)	—								
		社会貢献活動の推進と関連事業への支援	・グローバル一斉清掃等による地域美化活動への参画 ・関連事業への支援(トヨタ白川郷自然学校、生物多様性民間参画パートナーシップ)	—								
		環境政策への貢献	・外郭団体等の環境政策への貢献と提言(自動車部品工業会、ゴム工業会等)	—								
環境マネジメント	連結環境マネジメントの強化、推進	・グローバル連結環境マネジメント活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔順法管理の強化</li> <li>・環境負荷低減活動の推進</li> </ul>	—									
	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	・材料・製品等仕入先と連携した活動の一層の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔当社へ納入される部品、原材料、生産設備等に含まれる環境負荷物質の管理充実</li> <li>・仕入先における環境関連法令等の順守及び自主的な環境パフォーマンス向上活動の要請</li> </ul>	—									
	グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化	・従業員の環境意識向上活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔体系的な環境教育の実施</li> <li>・環境月間活動のグローバル展開</li> <li>・社内報等の活用による情報提供と啓発</li> </ul>	—									
	環境情報の積極的な開示とコミュニケーション活動の充実	・製品環境技術情報提供の充実 ・TGLレポートの発行継続と更なる内容充実(1回/年) ・環境コミュニケーション活動の充実 ・評価機関への可能な限りの情報開示	—									

※2 VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)